

委託事業実績報告書

項目	事業内容	実施方法
平成28年度 血液製剤使用適正化 方策調査研究事業	1. 血液製剤の使用状況調査 (輸血の安全確保対策を 含む)	平成27年度の輸血用血液製剤の使用単位数が100単位以上の医療機関および過去に調査を依頼した58施設(県内血液供給量の95.3%を占有)を対象に、平成28年1月1日から平成28年6月30日までの6ヶ月間における輸血用血液製剤とアルブミン製剤の使用状況、自己血輸血実施状況などをアンケート方式で調査(45施設が回答、回収率77.6%)した。また、小規模医療機関での輸血の実態と、かかえている問題点などを把握し、今後の適正使用方策へ活用するために追加アンケートを行った。 使用状況調査結果および追加アンケートの結果は、平成28年11月16日に開催された第19回秋田県合同輸血療法委員会で報告した。 また、平成28年度秋田県合同輸血療法委員会報告書として、各医療機関に配布する予定である。
	2. 秋田県合同輸血療法委員 会の開催(秋田市)	平成28年11月16日、秋田県庁第二庁舎会議室において、第19回秋田県合同輸血療法委員会を開催した。医療機関36施設から85名が出席した。 1. 特別講演: 秋田大学医学部附属病院輸血部副部長、藤島直仁医師により、『Bloodless Medicine -Best Transfusion Practiceを目指して-』の演題の特別講演があった。 2. 自己血及び血漿分画製剤を含む血液製剤の使用状況調査の報告を行った。 3. 輸血の安全性確保について、アンケート調査結果に基づき、秋田県の現状報告を行った。 4. 『輸血量削減の取り組みについて』をテーマに事例発表と総合討論を行った。医療機関5施設の医師、看護師、検査技師を話題提供者とし、輸血量削減対策として自己血の関与、麻酔科、泌尿器科、産科の医師の立場から術前貧血と自己血について話題提供を行ない、また、輸血看護や輸血用血液製剤の管理の立場から看護師や検査技師が話題提供し、全体で総合討論を実施した。
	3. 医師部会、看護師部会、 検査技師部会の開催	平成28年11月16日の合同輸血療法委員会に先立ち各部会を開催した。医師部会14名、看護師部会5名、検査技師部会12名が出席し、血液製剤使用適正化方策調査研究事業研究計画、Bloodless Medicine、輸血管理ポケットマニュアルへの意見や活用についてそれぞれ議論した。また、今年度の活動計画についても討議した。
	4. 県南地区輸血講演会の開 催(由利本荘市)	秋田県合同輸血療法委員会主催の地域輸血講演会を平成29年2月25日、由利本荘市の由利組合総合病院講堂で開催した。医師、看護師を中心とし76名の参加があった。輸血用血液製剤の適正使用に資する目的で『輸血用血液製剤の取り扱い』について教育講演を実施した。『Bloodless Medicine -Best Transfusion Practiceを目指して-』として基調講演を行った後に輸血削減のための取り組みとして医師、看護師、検査技師の視点から自施設の現状報告を中心に4施設から報告がなされた。また『輸血削減のための取り組みを考える』をテーマに活発な討論が行われた。
	5. 輸血検査技術研修会の開 催(秋田市)	秋田県合同輸血療法委員会と秋田県臨床検査技師会および秋田県赤十字血液センターの共催で、輸血検査技術研修会を平成29年1月21日に開催した。秋田大学医学部基礎実習棟を会場として、輸血検査を担当する技師51名が参加した。「輸血検査の基本を学ぶ」を主題に、認定輸血検査技師を中心に17名を指導者として依頼した。
	6. 看護師の為のステップ アップ輸血研修会	秋田県合同輸血療法委員会看護師部会を中心に、看護師の輸血教育を目的に、「安全な輸血を実施するために」をテーマとして、平成28年6月11日に秋田大学医学部臨床講義棟を会場に県内28施設115名が出席し開催した。

委託事業実績報告書

項目	事業内容	実施方法
	7. 世話人会の開催（2回）	<p>第1回世話人会（6月8日）： 秋田県での適正輸血推進のために、合同輸血療法委員会での討論テーマの選択や、アンケート項目の決定、講師の選定を行った。地域での輸血講演会を予定した。また平成28年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業への応募内容について確認を行った。</p> <p>第2回世話人会（11月16日）： 合同輸血療法委員会開催当日に、今年度事業の輸血講演会や輸血検査に関する研修会の開催について打ち合わせを行った。Bloodless Medicineの普及目的の輸血管理ポケットマニュアルの作成と、今後の各施設での周知活動について討議された。</p>
	8. 制限輸血の普及啓発	<p>Bloodless Medicine制限輸血の普及を目的に、秋田県内で開催される輸血の研究会、学会、研修会の機会をとらえ、講演等を実施した。</p> <p>1）平成28年11月16日、秋田県合同輸血療法委員会特別講演「Bloodless Medicine -Best Transfusion Practiceを目指して-」、および制限輸血に関する全体討論の開催。</p> <p>2）平成28年12月3日、第27回秋田県臨床輸血研究会一般演題「秋田県合同輸血療法委員会の制限輸血に対する取り組み」での発表</p> <p>3）平成29年2月25日、秋田県合同輸血療法委員会県南地区輸血講演会基調講演「Bloodless Medicine ～Best Transfusion Practice を目指して」、および制限輸血の取り組みに関する全体討論の開催。</p> <p>4）平成29年3月4日、第110回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会ミニレクチャー「Bloodless Medicine -制限輸血-」での発表。</p> <p>5）平成29年3月4日、第27回長野県輸血懇話会教育講演「合同輸血療法委員会の現状と今後の展望」での発表。</p>
	9. 輸血管理ポケットマニュアル作成と配布	<p>Bloodless Medicineの普及目的の輸血管理ポケットマニュアルを2600部作成した。秋田県内開催の輸血に関する研修会、学会などでBloodless Medicine制限輸血の講演等を行い、作成した輸血管理ポケットマニュアルを配布した。</p>
	10. 秋田県合同輸血療法委員会ホームページの作成と公開	<p>平成29年1月に秋田県合同輸血療法委員会ホームページを立ち上げた。内容は、委員会の概要、新着情報、活動状況、輸血関連行事、資料、血液製剤使用状況調査結果、Q&A、リンク集とした。URLを以下に記す。 http://plaza.umin.ac.jp/~tx-akita/</p>